

# 医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	脳卒中と下部尿路障害の関係についての検討
研究責任者	小児脳神経外科 中戸川裕一
研究実施体制	聖隷浜松病院でのデータを使用する: 単一施設、非盲検、後方視的研究
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2023 年 3 月 31 日
対象者	【対象患者】2021 年 4 月から 2022 年 3 月までの間に聖隷浜松病院排尿ケアチームが介入を開始した脳卒中入院患者。 【選択基準】脳卒中科に入院し、排尿ケアチームが介入した患者 【除外基準】脳卒中科に入院し、死亡例、予定手術例 【予定症例数】108 例 【症例数の設定根拠】当院で対象患者となる見込み症例数を設定した。
研究の意義・目的	脳卒中後の下部尿路障害は、患者の ADL 低下、介護負担の増加、尿路感染症の増加などを引き起こすことが知られている。今回、当院に入院した脳卒中患者における下部尿路障害について調査した。
研究の方法	【研究のデザイン】後向き観察研究 【方法】対象患者について、診療録から以下の項目の調査を行う。 年齢、性別、基礎疾患、最終転帰、フォーレ挿入期間、導尿期間、mRS 【評価・解析方法】EZR を用いた統計解析。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 小児脳神経外科 (氏名)中戸川裕一 TEL:053-474-2222(代表) 小児脳神経外科外来 9:00~17:00 平日